

筑波大学新聞

第373号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699
E-mail
shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 介護実態伝えるアプリ開発
- 筑波大ICAFに初出展
- 首都大学野球秋季リーグ2位
- 留学生向け秋新歓 3年ぶり開催
- 自転車盗 市内の4割筑波大周辺

特集

- 筑波大生に聞くスマホ利用実態
- 依存しない使い方 6・7
- ミニ特集
- 筑波大のバリアフリー
- 現状と課題に迫る 3

大学債200億円発行

国立大で3番目 施設整備へ

発行した大学債の概要

債権の名称	第1回国立大学法人筑波大学債券(サステナビリティ債券)
債権の愛称	筑波大学社会的価値創造債
債権の総額	200億円
各債権の金額	1000万円
利率	1.619%
償還の方法及び期限	2062年3月17日 満期一括償還(40年債)
格付	AAA (日本格付研究所) AA+ (格付投資情報センター)

(取材を基に作成)

筑波大は10月19日、大学債「筑波大学社会的価値創造債」を発行した。自由度の高い資金調達により、自主財源を多様化し、財政基盤を強化する狙いだ。発行金額は200億円。調達資金を地球環境と社会的課題の解決に役立つプロジェクトに充てるサステナビリティ債券となる。国立大学法人として大学債を発行するのは東京大、大阪大に次いで3校目、サステナビリティ債券としては大阪大に続く2校目となる。

筑波大が発行した大学債約3.2億円の年利を払い、償還期限は40年で、利率は1.619%。毎年200億円を一括返済する率は年1.619%。毎年200億円を一括返済する。筑波大は大学債発行に先駆けて、今年1月に信用格付けを取得。日本格付研究所から「AAA」、格付投資情報センターから「AA+」の評価を得ていた。筑波大は、大学債発行で予定している具体的なプロジェクトとして、▽大規模研究施設「IMAGINE THE FUTURE Forum」(仮称)▽学生交流施設「未来社会デザイン棟(仮称)」▽スポーツ複合施設「SPORT COMPLEX FOR TOMORROW」(仮称)の建設を挙げている。スポーツ複合施設は、スポーツ科学や障害者スポーツの知見を実践する拠点になる。資金調達・運用課によると、アスリートの競技力強化や共生社会の実現に向けた研究を実施する狙いがあるという。



つくば市街間で10月16日、北川瑠菜撮影

つくば市で3年ぶりにねぶたが練り歩いた。2022年THE祭りつくばねぶたパレード。例年は「まじろ」の目玉行事だったが、コロナ禍で中止されていた。新たに制作されたものを含む8基が登場し、多くの見物客が楽しんだ。(及川千翔)人文学類3年

柳沢教授ブレックスルー賞

睡眠障害の治療薬への貢献が評価

自然科学分野の国際的な学術賞「ブレックスルー賞」が9月22日に発表され、筑波大国際統合睡眠医学研究機構長の柳沢正史教授が2023年生命科学部門の受賞者に選ばれた。柳沢教授は1998年に睡眠と覚醒を制御する脳内物質「オレキシン」を発見し、日中に突然強い眠気に襲われる睡眠障害「ナルコレプシー」の病態を解明。それが過眠症や不眠症の治療薬に結びついた実績が評価された。柳沢教授は筑波大で開かれた記者会見で、「受賞は正直意外で、驚いた。睡眠という分野が注目されてうれしい」と語った。

(山田優芽)比較文化学類3年、写真も。2面に関連記事

柳沢教授は米スタンフォード大のエマニュエル・ミニョー教授との共同で折半する。柳沢教授は筑波大の大学院生だった88年、血管収縮物質「エンドセリン」を発見した。

見た。これが評価された。91年に31歳で渡米。米テキサス大に研究室を構えた。98年に筑波大の後輩だった櫻井武博士(現筑波大医学医療系・同機構教授)と共にオレキシンを発見。99年にはオレキシンが睡眠と覚醒に関係することを突き止めた。



記者会見に臨む柳沢教授(9月22日、大会館で)

共同受賞のミニョー教授は1999年、イヌの家族性ナルコレプシーがオレキシン受容体遺伝子の変異によって起ることを発見した。更に、ヒトのナルコレプシー患者でもオレキシン「あと数年で実用化されるだろう」と話す。

柳沢教授は記者会見で「テキサス大では、安定した資金と自由な環境で研究者のびのびと研究できる環境を作る必要がある」と話した。また、筑波大生に向けては「研究者を目指すなら、自分から面白いと思えることをしてほしい」とエールを送った。ブレックスルー賞はゲルグランド大手企業の創始者などが12年に創設した。毎年、生命科学、基礎物理学、数学の各部門から選ばれる。日本からはこれまでにノーベル賞を受賞した山中伸弥・京都大教授や大隅良典・東京工業大名誉教授らが受賞している。



食堂に並ぶ学生ら(10月25日、第一エリアで) = 及川千翔撮影

東京都内から1時間半かけて通学している岡布子さん(社会学4年)は「循環バスでは、席に座ることがかなり確実な確保が難しくなり毎日へとへと」と話した。(天野幸太)比較文化学類3年、車谷郁美)社会学類3年

秋学期対面授業7割超

キャンパスに活気戻る

秋学期に入り、対面授業が大幅に増えた。教育推進課のまとめ(9月30日現在)では、秋学期に学群生を対象に開講される3131科目の8割近い23991科目が対面授業(オンライン併用を含む)となった。春学期の対面授業(同)の比率は約5割だった。コロナ禍前に近い活気がキャンパスに戻りつつある。

筑波大は6月16日、「対面授業または対面授業とオンラインの組み合わせ」を基本とする授業の実施方針を学生に通知した。これを受け、春CMシミュレーション、対面授業が拡大した。同課によれば、新型コロナウイルスの感染状況などを踏まえ、今後も授業形態

を検討していくという。同課の担当者は「対面授業を基本にしつつ、オンラインも取り入れてより良い教育を提供したい」と話した。コロナ禍で客足が減っていた学内の食堂も、利用が回復しつつある。1A棟食堂「TSUKUBA TABLE」では、10月27日現在で同月の利用客が延べ4500人を超え、春学期で最も利用客の多かった4月の同約4100人を既に上回ったという。同食堂の従業員は「利用客が増えて忙しいが、長蛇の列を作るようになっていた」。

また、夕刻に筑波キャンパスから同センターに向かうバスも混み合っている。循環線を運営する関東鉄道(本社・茨城県土浦市)の担当者は「朝は臨時便を出して対応している。夕方からは学生によって帰宅時間にばらつきがあり、把握しきれなかった。すぐに実態を調査し、臨時便を増やすなどの対応を検討したい」と話す。

コロナ禍での利用減を踏まえ、同社は昨年12月、土浦駅近く3駅から筑波大学中央に向かうバスを減便。今年4月には、キャンパス定期券で利用できるバスが筑波大学循環線に限定されていた。

記者の声



寺尾優汰

誰もが暮らしやすい社会に「心のバリアフリー」を広げよう

【3面参照】本紙今号の取材をする中で、誰もが暮らしやすい社会作りには「心のバリアフリー」が大切だと実感した。

最初のきっかけは、今年10月中旬、中央図書館前で学生に声をかけたことだ。親の介護に関する考えを聞き、「反射鏡」コーナーに掲載するためだ。

立ち止まってくれたものの、返事がない。聴覚に障害があるのかと思い、ノートに用件を書き、ライオン取材した。

取材に使ったシステムには、音声で文字化して表示する機能があった。相手の声は直接聞き、こちらの発言は瞬時に文字化されて伝わる。相手に聴覚障害があることを忘れてしまおうと、スマートフォンを取り出し、耳は聞こえるが音声での会話が出来ないことを、画面で伝えてくれた。

実は今まで、障害がある人に関わった経験がほとんどない。

取材に使ったシステムには、音声で文字化して表示する機能があった。相手の声は直接聞き、こちらの発言は瞬時に文字化されて伝わる。相手に聴覚障害があることを忘れてしまおうと、スマートフォンを取り出し、耳は聞こえるが音声での会話が出来ないことを、画面で伝えてくれた。

実は今まで、障害がある人に関わった経験がほとんどない。

筑波大のそばには障害者が学ぶ施設があり、白杖をつきながら、キャンパス周辺の横断歩道を渡っている人々を目にする。二つ目は、本紙「特集」で、重度の聴覚障害を持つ学生にオランダ語を教える授業があった。

「どう接し、何を伝えたいか」が、実際に話してみると、少しの工夫でスムーズにコミュニケーションがとれた。今回の取材で、自分自身が勝手に壁を作っていたのだと気づいた。

障害者が暮らしやすい社会を作るために、ハード面の整備は欠かせない。移動しやすい空間、電車で高齢者に席を譲る。白杖を持った人に「お手伝いが必要ですか」と声をかける。点字ブロックの上に障害物を置かない。これらはみな「心のバリアフリー」で、誰もがすぐに実践できることだ。2020年のバリアフリー法改正で、国は市町村や学校教育と連携して推進することが新たに定められた。

私たち一人一人の意識が変わることが、ハード、ソフト両面で誰もが暮らしやすい社会の実現を促進することになる。

(比較文化学類3年)

筑波時評

子どもは大人に比べて運動・認知情動の能力が未熟で、親や学校、地域社会に守られ、育まれる存在だ。しかし、子どもが親や家族の心身のケアを担う、役割逆転が生じることがある。

近年、日本でも、本来大人が担う家族の世話役を果たす18歳未満の子どもが「ヤングケアラー」として認識されるようになった。彼らは、きょうだいの面倒を見る、家族の食事作りや洗濯、掃除などの家事を担う、ケアをする。

感情のスイッチ切る子ども 家庭外での居場所作り進む

障害のある家族の見守りや世話をする、日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために書類を読んだり翻訳をしたりするなど、家族の生活の世話をする。

近年、日本でも、本来大人が担う家族の世話役を果たす18歳未満の子どもが「ヤングケアラー」として認識されるようになった。彼らは、きょうだいの面倒を見る、家族の食事作りや洗濯、掃除などの家事を担う、ケアをする。

不登校や心身の不調につながるリスクがある。

2021年度に家族の世話について尋ねた「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」(日本総合研究所)の小学生回答では、平日1日当たり7時間以上世話を行っているも、うち3割超が「特に大変さは感じない」と回答した。担っている役割に違和感を持っていない子どもも一定数いると考えられる。一方「妹をお風呂に入れるのが大変だから、一緒にやってもいい」「むりなのはわかっていて、悲しいとき、つらいときに気づいてほしい」「ただお風呂を洗ってほしい」といった声も聞かれた。

既に自治体では、家族や学校を訪問して子どもと話し、信頼関係を構築して、支援を届ける取り組みが進んでいる。子どもの居場所を設けて、宿題を手伝い、ゆとりとした時間を過ごす場も作っている。家庭以外からの支援を受け入れ、子どもに家庭外で過ごす時間を作る支援を受け入れてもらう工夫を重ねている。「ここにあなたや家族を大切に思っている大人がいるよ。一緒に考えよう」というメッセージを届けた。ヤングケアラーに関する厚生労働省の情報は <https://www.mhlw.go.jp/stf/younsg-career.html>。

安藤 智子 教授 (発達臨床心理学)



人間系・教授。お茶の水女子大学大学院人間科学研究所。博士(人文科学)。東京慈恵会医科大学附属病院精神科の臨床心理士を経て、2013年より現職。

理をたたく、本来感じて当たり前前の感情を出す、家族が困るので、無意識に感情のスイッチを切る。また、友人や学校で過ごす時間が制限されるため、自分の興味のあることに触れる時間がとれない。家の中を覗きかきとて感じ、本音のことを話せず、他者との親密な関係を継続的に持つのが難しい。

反射鏡



学食のお気に入りメニュー

秋学期に入って対面授業が増えた。お昼に何を食べるかも、日々の楽しみの一つではないか。筑波キャンパスには16の食堂や喫茶がある。筑波大生はその中から、どのようなメニューを選んでいくのか。お気に入りメニューをエリアで聞いた。(寺尾優汰 比較文化学類3年、加藤緑 生物学類1年、大岡知輝 比較文化学類1年)

【人文2年・男性】 サイドメニューのカボチャ1A棟喫茶「スープファ」サラダが美味しい。カボチャトリのミネストローネが美味しかった。野菜、値段は130円、学食の味がたまりこんでいて、メニューとしては少し高く380円で食べられる。コ感じるが、学外のお店と比べてパフォーマンスが良ければ安く妥協かと思ふ。【人文2年・女性】 サイドメニューのカボチャサラダが美味しい。カボチャトリのミネストローネが美味しかった。野菜、値段は130円、学食の味がたまりこんでいて、メニューとしては少し高く380円で食べられる。コ感じるが、学外のお店と比べてパフォーマンスが良ければ安く妥協かと思ふ。

【教育2年・男性】 毎日対面授業があるの、近い学食に行く。気に入って、ほぼ毎日、学内の食堂で利用している。週に2、サイドメニューの揚げ豆腐3回行くと2B棟食堂では、だ。あとは春日食堂の栄養【人文2年・女性】 サイドメニューのカボチャサラダが美味しい。カボチャトリのミネストローネが美味しかった。野菜、値段は130円、学食の味がたまりこんでいて、メニューとしては少し高く380円で食べられる。コ感じるが、学外のお店と比べてパフォーマンスが良ければ安く妥協かと思ふ。

【知恵1年・男性】 春日食堂のカレーが大好き。300円で食べられる。量も多い。主に3限終わりに、友達と昼食を食べる際に利用している。

【人文3年・男性】 2B棟の小食堂(麵処)で、かけそばをいつも食べられている。200円台で【人文3年・女性】 春日食堂のカレーが大好き。300円で食べられる。量も多い。主に3限終わりに、友達と昼食を食べる際に利用している。

【社会学3年・男性】 1A棟食堂のラーメンが好きだ。ワンコインで食べられて量もある。とにかく普通なしょうゆラーメンだ。【社会学3年・女性】 春日食堂のカレーが大好き。300円で食べられる。量も多い。主に3限終わりに、友達と昼食を食べる際に利用している。

【社会学3年・女性】 春日食堂のカレーが大好き。300円で食べられる。量も多い。主に3限終わりに、友達と昼食を食べる際に利用している。

親の介護を考えていますか

少子高齢化が進み、介護現場は人手不足が続く。団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年ごろには高齢化のピークがやってくる。そうした時代を支えることになる現役筑波大生は、親の介護をどう考えているのか。中央図書館前で聞いた。(寺尾優汰、山田優芽 比較文化学類3年、川上真生 社会学類1年)

【心理2年・男性】 親は40代で、介護の望み福祉サービスを受けられる。20代で介護の準備はしている。【2類1年・女性】 自分で親の介護をしたくない。アルツハイマーの祖父とリウマチを患う祖母の介護をする母のつらさや姿を見て、祖父に施設に入ってもらいたい。祖母に私を育ててくれた両親の【心理学3年・女性】 お金に余裕があれば、訪問介護でヘルパーさんに毎日来てもらいたい。祖父はヘルパーさんに頼み、休日は母が出勤して介護している。平日働いている母には休みがないようなので、自分にはどうもできない。

【社会学3年・男性】 一人っ子政策の影響で、兄弟がいないことも多い。自分もそう。できる限り両親の現実的になってきた。親の近くで暮らすため、地元で就職も考えたが、結果的には遠く地域の企業に内定した。だが、転勤がある企業なので、地元近くに配属されることあれば、親の面倒を見られるのでいい。

【心理学3年・女性】 お金に余裕があれば、訪問介護でヘルパーさんに毎日来てもらいたい。祖父はヘルパーさんに頼み、休日は母が出勤して介護している。平日働いている母には休みがないようなので、自分にはどうもできない。

宮原さん 初の個展

(芸専4年)

生花店で16作品展示

宮原美奈子さん(芸専4年)の個展「Garden of Colours」が10月10日、生花店「Uraha Florist」(東京都千代田区)で開かれた。店内の鮮やかな花と共に全16作品が展示された。

会場にはアクリル画や油彩画、木版画など幅広い画法の作品が並んだ。表現したい題材に応じ、宮原さんが最も適していると考えた手法を選んで制作しているから。

今回の個展のために制作した「Garden of Colours」はアクリル絵の具を使った色鮮やかな作品だ。白紙の上に大きな塗り3枚の絵が配置されている。それらが全体で大きな木の絵となり、黄色



宮原さんの作品「Garden of Colours」(10月16日、東京都千代田区で)

みがかった背景に、水色や赤などの色が散りばめられている。

宮原さんは初め、色どりの大きな抽象画を描いていた。それを切って並び替えたところ、木のような形が見えたため、今回の作品に仕上げたという。

「普段は明暗を重視した写実画を描くことが多い。今回は、個展のテーマである『色どりの庭』を表現するために色彩を重視し、アクリル画を選んだ」と宮原さんは話す。

宮原さんは東洋大文学部を卒業後、イラストレーターとして活動していた。だが、子供の頃の夢だった画家を目指すため、2019年に筑波大芸術専門学群に入学した。

現在は3DCGを活用して油絵を描く研究をしている。最初に3DCGで作品の全体像や一部を組み立て、それを基に絵を描く手法だ。今回の展示でもこの手法で制作した2作品を展示した。

筑波大学管弦楽団演奏会

コロナ禍乗り越え 47期生の集大成

筑波大学管弦楽団の第92回定期演奏会が9月28日にパホール(つくば市吾妻)で開催された。2時間半にわたり、約400人の観客が迫力のある演奏に聞き入った。

演奏会は3部構成。第一部はモーツァルトが作曲したオペラ「魔笛」の序曲で幕を開けた。舞台は架空の古代エジプトで、勇敢な王子が囚われの女王の娘を救い出した。

宮原さんは二度全体の構想をまとめておくと、実際に制作する際に、明暗を参考にしたり、画面に統一感を持たせたりすることができた。この技法を突き詰めていきたい」と語った。

(中谷美稀II人文学類1年写真も)

に演奏会を開催できては嬉しい。先輩たちから「つくばの筑波大学管弦楽団の音が戻ってきた」と言われ、うれしかった」と話す。

また、団長の市川達さん(心理3年)は「92回という歴史は、歴代の団員が地道に練習を重ねてきた成果によって紡がれたと思う。今年度は3年ぶりに2回の定期演奏会を開くことができ、後輩にバトンをつなぐことができた」と語った。

(小栗あおいII社会学類3年、12面に関連写真)

筑波大ICAFに初出展

学生のアニメーション作品集結

学生や専門学生が制作したアニメーションを上映する映画祭「インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル」(ICAF)が9月29日、10月2日に国立新美術館(東京都港区)で開かれ、全国30校からの計21作品が上映された。筑波大が初参加し、学生4人がそれぞれ作品を出展した。

比留間未桜さん(芸術P前期1年)が出展した「メモリモ」は、「己の記憶ほど信用できないものはな」をテーマに、主人公の女性が家の鍵を探す様子を描いた3分ほどの作品だ。セリフはないが、丸みのあるデザインで、主人公が表情豊かに描かれる。物語は、夢から覚めた主人公が慌てて家を出ようとするシーンから始まる。鍵がないことに気づき、記憶をたどるなかで鍵を探し、主人公が自分の頭をかきむしると、ヒリッと音を立ててその部分が紙のように破り取られ、そこに前日の様子が映し出される。心当たりのある場所を思い出すが、そこに鍵はない。最後、ゴミ箱に捨ててしまったことを思い出し、鍵が見つかった。

実際に丸めたり破ったりしたコピー用紙の画像を、



「メモリモ」のワンシーン=比留間さん提供

アニメーションに合成しているため、紙の質感がリアルに伝わってくる。

比留間さんは「記憶という目に見えないものを可視化したかった。誰もが経験あることを、新しい方法で表現できた」と話した。

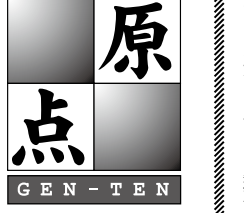
ICAFは、参加校で作られる同実行委員会主催。日本アニメーション協会(JAANA)と日本アニメーション学会(JSAS)が共催した。

9月26日、10月2日にICAFのウェブサイトで各校が1作品ずつ推薦した計30作品がオンライン配信され、筑波大からは比留間さんの「メモリモ」が選ばれた。(松村英美里II日本語・日本文化学類2年)

◆おまわりの
「芸術の森」は休みます。

真面目に研究に取り組んだ。修了後は企業から引く手あまたであった。

だが、フリーのデザイナー、造形作家になった。め単身イタリアに渡った。



GEN-TEN



10月19日、つくば市栗原で

俳句 筑波大

「闇」

・ 神の見てをらぬあひだに秋の虹
・ 秋といふ重たき闇や大櫛
・ 柿もみち筑波の榎を染めるたり

大学から少し自転車をこいでいくと、景色が一気に変わって田畑が筑波山の裾野に広がる。全く異なる街がすぐ隣り合っているつくばのこのところ、私は好きだ。今回訪れた栗原の鹿島神社の大櫛は、つくば市指定天然記念物となっている。(島崎寛永II人文学類3年写真も)

伊藤節 教授 (デザイン学)

芸術系・教授。筑波大学大学院芸術研究科修了。修士(芸術学)。2020年より現職。現職デザイナーとして長く活躍し、1995年からミラノのStudio ITO Design代表取締役。



レッド・ドット賞(ドイツ)を受賞したILY-Iスマートモビリティチェア(株式会社アイシン製)=本人提供

だが、フリーのデザイナー、造形作家になった。め単身イタリアに渡った。

工法やスケールの違うさまざまなものづくりに積極的に取り組み、ゴールデン・コンパス賞(イタリア)やレッド・ドット賞(ドイツ)やグッドデザイン賞(アメリカ)など数多くの国際デザイン賞を頂いてきた。

大学時代からイタリアの修行時代まで一貫して、その都度自分がこうなりたいと思う先人になるだけ近い距離で学ぶ努力をした。仕事場だけでなく、許される時は休日や食事と一緒に過ごさせてもらい、その人の全般的な考え方、人生観から学んだ。

自分の会社を持ってからも「こういう時、あの先生ならどう考えるだろうか。自分はどうすべきか」と想像して難題に向き合った。分野を問わず尊敬できる先輩、後輩、友人に囲まれ、常に刺激を受けながら研究、創造活動が続いてきた。

いろいろな人に支えられて来た一方で、個としての独自の文脈をつくることもあった。

大学での研究・教育活動においては、若い頃からイタリアのさまざまな大学で先輩の先生方の授業の手伝いを積極的に行い、非常勤講師や客員教授として経験を重ねた。

私たちは、生まれた環境も、その後の人生も異なる。それぞれの個性が選別していく道や出会う人も異なる。この独自の文脈を求めているフル活用し、常に多角的な視点を持ち、オリジナリティあるものを創造していくことが大切である。

ご存知のように、筑波大は日本最古の官立の高等教育機関・高等師範学校の流れをくみ、国が威信をかけてつくった学際的かつ国際的な多様な高層の新構想大学である。学生諸君には筑波大で学び、研究することに誇りと責任を持ってほしい。そして、本学の学際的・学際的環境を積極的に活用し、やんちゃで独創的な研究・創作活動を展開し、世界の舞台で大いに活躍されることを切に願っている。

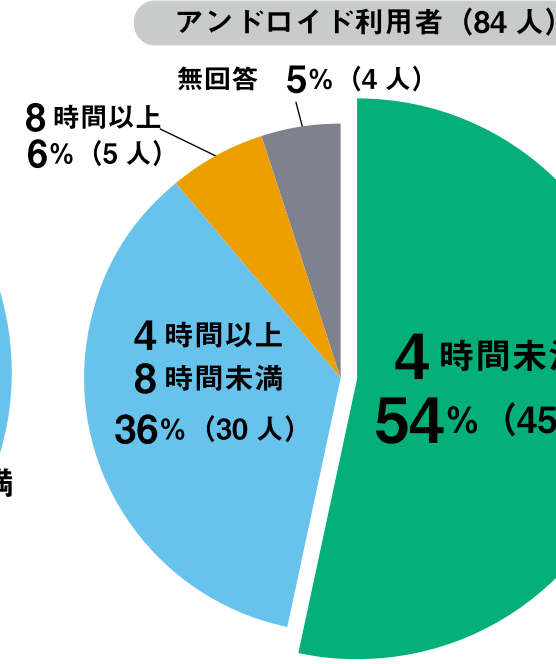
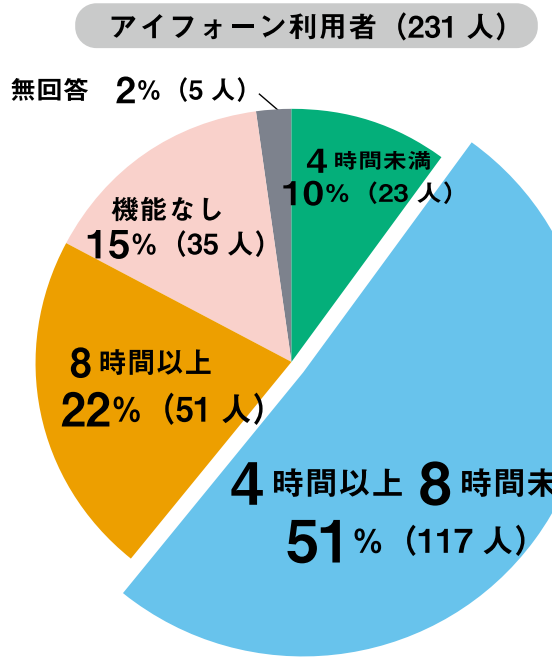
筑波大生315人に聞くスマホ利用実態 依存しない使い方を探る



大学生にとって、日々の生活にスマートフォンは欠かせない。だが、過剰利用は睡眠障害や集中力の低下を招く。それでもなかなかやめられない「スマホ依存」は今や社会的な問題だ。筑波大生を対象にした本紙アンケートでは、2割超えの学生がスマホを1日平均8時間以上利用している実態が浮かんできた。アンケート結果を詳報し、有識者に聞いた依存症対策を紹介する。(中谷美稀 及川千翔 細井真生 人文学類、山田優芽 比較文化学類、加藤緑、中山友萌香 生物学類)

1日のスマホ利用時間

iPhone利用者はアプリ機能「スクリーンタイム」を参照して、Android利用者は感覚的に回答してもらいました。



1日8時間以上利用が2割超す

アンケートは10月6〜20日に中央図書館前で実施し、筑波大生315人から回答を得た。内訳はiPhone利用者231人、Android利用者84人、分けた。iPhone利用者には、1日の平均利用時間やカテゴリごとの利用時間が表示されるアプリ機能「スクリーンタイム」を参照し、回答してもらった。Android利用者には、感覚的に回答してもらった。

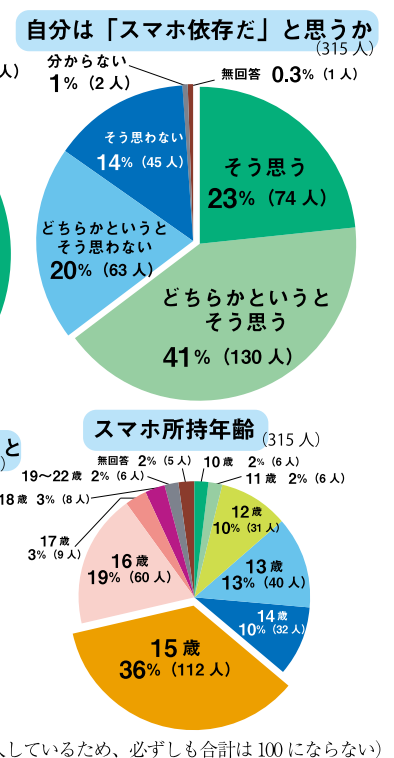
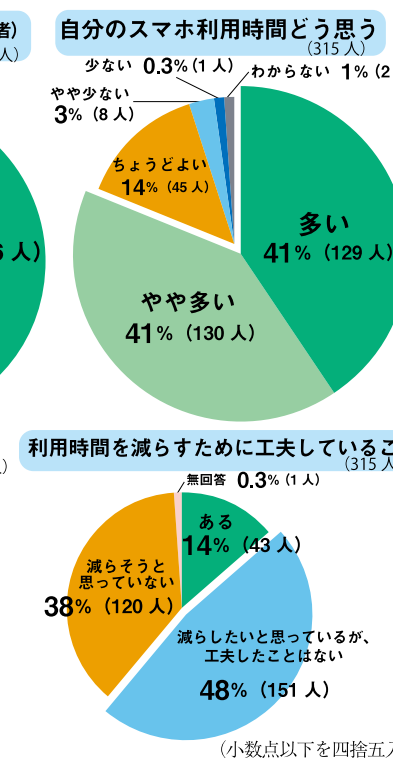
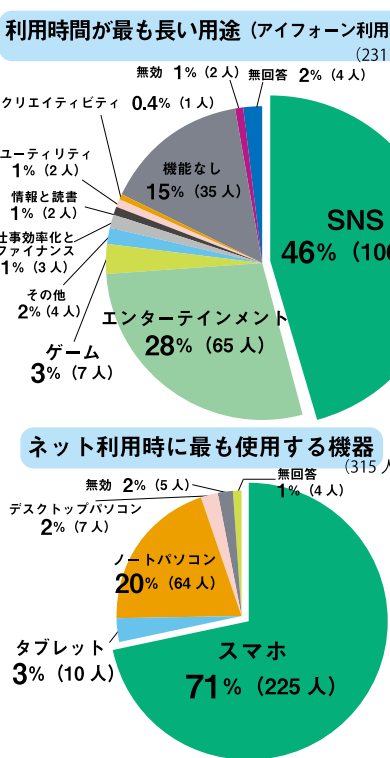
これに対し、感覚的に回答したAndroid利用者では、4時間以上が全体の42% (35人)、8時間以上が28% (65人)を占めた。アンケートの回答者全体に自身をスマホ依存と思う

利用時間が最も長い用途 (iPhone利用者) (231人)

無効	1% (2人)
無回答	2% (4人)
クリエイティビティ	0.4% (1人)
ユーティリティ	1% (2人)
情報と読書	1% (2人)
仕事効率化とファイナンス	1% (2人)
その他	2% (4人)
機能なし	15% (35人)
SNS	46% (106人)
エンターテインメント	28% (65人)
ゲーム	3% (7人)

利用時間を減らすために工夫していること (315人)

無回答	0.3% (1人)
ある	14% (43人)
減らそうと思っていない	38% (120人)
減らしたいと思っているが、工夫したことはない	48% (151人)



(小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計は100にならない)

「依存に気づきにくい」



松崎尊信精神科医長

「アルコールや薬物などの「物質依存」に対して、スマホ依存は「行動依存」の一種に分類される。国立病院長機構久里浜医療センター(神奈川県横浜須賀野市)で依存症患者の治療にあたる松崎尊信・精神科医長は、スマホ依存を「スマホ利用をやめられず、実生活に悪影響が出ている状態」と定義する。

だが、スマホ依存を理由に同病院を受診する人はほとんどいないという。松崎医長は「生活の一部にもなっているスマホ利用は、過剰に使用していても依存の状態にあるとは自覚しにくい。ましてや治療を求めて病院に行こうとまで



久保尊洋特任助教

スマホをどのように利用しているか。臨床心理士の久保尊洋特任助教(人間系)に聞いた。(聞き手・山田優芽)

「スマホの利用時間が長くても、うまく活用できている人もいます。スマホ利用で心身や生活に悪影響が出ているのにはやめられないなら、対処が必要だ。全ての依存に言えることだが、原因の一つに、何かに頼って現実逃避することが挙げられる。一時的な逃避なら良いが、長期間にわたると依存になる。」

また、通知があるとすぐに確認したり、暇ができると目的も画面を開いてしまったりする。多くの人が何気なくやっていることだが、それはスマホに使われている状態だ。

スマホ依存から抜け出したいなら、スポーツや読書、友人と遊ぶなど自分の欲求を満たせる「他の依存先」を複数見つけるといい。必要ない通知をオフにするのもお勧めだ。スマホに使われないようにしてほしい。

スマホの主要な利用目的の一つがSNSだ。アンケートの回答でも、半数近くが「利用時間が最も長い用途」に上げた。SNSの使用と若年層の精神的健康の関係について研究する叶少瑜准教授(図情学系)は、「利用目的の明確化が大切だ」と指摘する。(聞き手・細井真生)

SNS依存には、主に個人の性格と対人関係の問題という二つの要因がある。SNS依存には、主に個人の性格と対人関係の問題という二つの要因がある。個人性格では、内気で

「スマホに使用される」

スマホ依存から抜け出したいなら、スポーツや読書、友人と遊ぶなど自分の欲求を満たせる「他の依存先」を複数見つけるといい。必要ない通知をオフにするのもお勧めだ。スマホに使われないようにしてほしい。



叶少瑜准教授

「スマホの主要な利用目的の一つがSNSだ。アンケートの回答でも、半数近くが「利用時間が最も長い用途」に上げた。SNSの使用と若年層の精神的健康の関係について研究する叶少瑜准教授(図情学系)は、「利用目的の明確化が大切だ」と指摘する。(聞き手・細井真生)

SNS依存には、主に個人の性格と対人関係の問題という二つの要因がある。個人性格では、内気で

「リアルでの関係構築が鍵」

SNSはコミュニケーションツールで、承認欲求を満たすためのものではない。これを忘れず、利用目的を明確にしてほしい。困った時に悩み相談ができる人がいれば、依存する人は減るのではないかと。

リアルでの関係構築が鍵

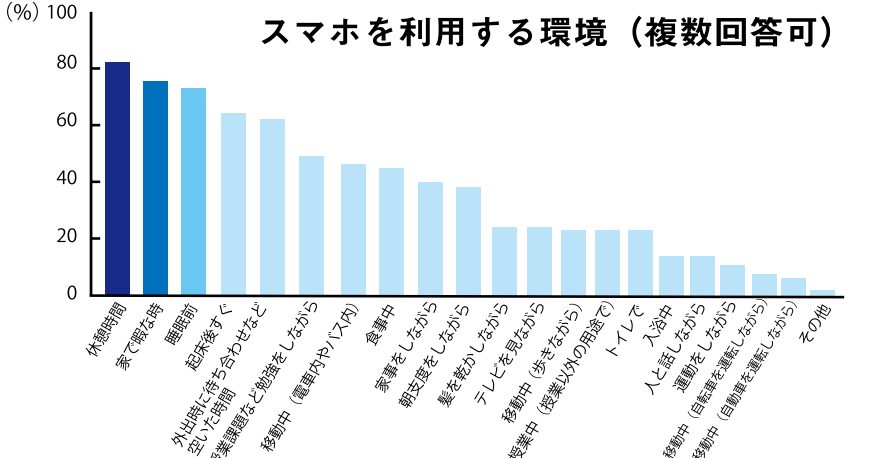


Hello! 先端研究



島田裕子助教

寄生蜂は他種の昆虫など(宿主)の巣やエネ...



やってみよう! ~スマホ依存チェック~

以下の設問の回答をそれぞれ以下から選び、点数の合計点が31点以上を「スマホ依存の疑い」とする。

- 1. スマホ使用のため、予定していた仕事や勉強ができない
2. スマホ使用のため、(クラスで)課題に取り組んだり、仕事や勉強をしている時に、集中できない
...

脳は就寝時間を早める可能性が示された。就寝時間の遅れに...

過去には死亡事故も 歩いたり運転したりしながらスマホを操作する...

寄生蜂の全ゲノム解読 害虫対策にも役立てたい

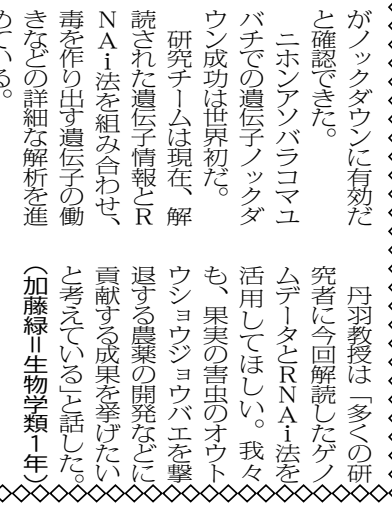
寄生蜂は他種の昆虫など(宿主)の巣やエネルギーを利用して生活する寄生生物だ...

寄生蜂の全ゲノム解読は、二ホンアソバラコマユバチから同じゲノム情報を持つ...

寄生蜂の全ゲノム解読は、二ホンアソバラコマユバチから同じゲノム情報を持つ...

目の前のことを一生懸命に 現在は所属は博物館教育課...

目の前のことを一生懸命に 現在は所属は博物館教育課...



目の前のことを一生懸命に 現在は所属は博物館教育課...



中村麻友美さん

目の前のことを一生懸命に 現在は所属は博物館教育課...

首都大学野球秋季リーグ2位 4年ぶりの関東大会出場



ホームランを打つ仲井 (10月16日、武蔵大戦で)

【バッティングパレス相石スタジアムひらつか(神奈川県平塚市)で天野圭太(比較文化学類3年、写真も)首都大学野球秋季リーグが9月3日、10月22日まで開催された。1部リーグの筑波大は8勝4敗2位となり、4年ぶりの7回目の関東地区大学選手権(関東大会)出場権を得た。関東大会の初戦は、東京新大野球1部リーグ2位の創価大と11月7日に横浜スタジアム(横浜市中区)で対戦する。

野球
1部リーグは所属する6校総当たりで、2戦先勝勝ち点制になっている。筑波大は5で連勝した。これで関東大会出場を決めた。

大のリーグ最終戦は10月16日の武蔵大戦。前日の1戦目は5-4で逆転勝ちし、2戦目も勢い止まらず9-5で連勝した。これで関東大会出場を決めた。

最終戦は1回表から早々に動いた。相手投手の四球や野手の送球エラーで満塁になると、西浦謙太(体専3年)が左前適時打を打ち先制した。押し出しで2点を挙げると、なかも満塁で小川(同4年)がスクイズを決めた。その後も堀江(同1年)が2点適時二塁打を打ち、初回は1挙に5得点した。

しかし、武蔵大にすぎま反撃された。先発の村上(同3年)は1回裏に適時二塁打を浴び、続く2回裏にも適時打を放たれて2点を許した。更に村上の送球エラーで2点を献上

分50秒。10位の国土館大とは4分55秒差で、トップの大東文化大は10時間40分39秒だった。

今年3年ぶりに立川駐屯地と国営昭和記念公園を結ぶハーフマラソンコース(21・0975キロ)で行われた。過去2年間は新型コロナウイルス感染症対策で陸上自衛隊立川駐屯地内を周回するコースだった。

当日の気温は20度を超え、湿度も高く蒸し暑い中でのレースとなった。

例年は序盤で留学生在が飛び出す展開になるが、今回は集団で徐々にペースを上げていった。エースの堀谷はスタートと同時に集団の前方に位置を取り、他の選手の出方をうかがいながら対応。筑波大トップの1時間3分55秒でゴールした。

(川上真生II社会学類1年)



チーム2位の快走を見せた皆川=陸上競技部提供

3年ぶりの箱根出場逃す 皆川が関東学生連合選出

陸上

来年1月2、3日に開催される第99回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の予選会が10月15日、東京都立川市で行われた。筑波大は15位に終わり、第96回大会以来3年ぶりの本戦出場はならなかった。駅伝主将の福谷颯太(体専4年)が個人記録で全体15位に入るなど、選手たちは力走したが及ばなかった。福谷に続くチーム2位の皆川和範(物理3年)は全体63位で、関東学生連合チームでの本戦出場が決まった。

予選会は各校12人が出場し、上位10人の合計タイムで競う。上位10校が本戦に出場できる。昨年より2校多い43校が出場した。筑波大の合計タイムは10時間53分50秒。10位の国土館大とは4分55秒差で、トップの大東文化大は10時間40分39秒だった。

今年3年ぶりに立川駐屯地と国営昭和記念公園を結ぶハーフマラソンコース(21・0975キロ)で行われた。過去2年間は新型コロナウイルス感染症対策で陸上自衛隊立川駐屯地内を周回するコースだった。

当日の気温は20度を超え、湿度も高く蒸し暑い中でのレースとなった。

例年は序盤で留学生在が飛び出す展開になるが、今回は集団で徐々にペースを上げていった。エースの堀谷はスタートと同時に集団の前方に位置を取り、他の選手の出方をうかがいながら対応。筑波大トップの1時間3分55秒でゴールした。

(川上真生II社会学類1年)

記者の目

し、1点差まで迫られた。3回表には小川の適時打で1点を追加するも、その裏に投手交代した寺澤神(同3年)が適時打を浴び、点差を広げられなかった。状況を打開したい筑波大は4回表、仲井淳人(同4年)が今季初本塁打を打ち、2点差とした。仲井は「内角の直球を捉えた。単なる1点ではない重みを感じた」と話した。更に9回表には、2死満塁から藤代稜之(同2年)の適時打で2点を追加。その裏をクロウザーの北爪魁(同3年)が無失点で締めた。

川村卓監督(体育系・准教授)は「選手たちが粘り強く戦ってくれた。下位打線にはまだしつこさがない。関東大会までに強化したい」と話した。

崖っぷちから関東大会へ

昨年の秋、硬式野球部は絶対絶命の危機を迎えていた。首都大学野球の順位は最下位。1部リーグ残留をかけた、2部で優勝した獨協大との入れ替え戦に臨んだ。「後輩のために負けられない」。当時の4年生たちの執念だった。初戦を落とすと2、3戦目を連勝し、後輩たちに「一部残留のバトンをつないだ。その後輩たちは今秋躍進。リーグ戦2位で、4年ぶりに明治神宮野球大会の予選を兼ねた関東大会出場を決めた。崖っぷちからの1年、チームに何があったのか。

「一心」というスローガンの下、チーム一丸となって前に進んで来た」と主将の濱内大陽野手(体専4年)は言う。だが、今春のリーグ戦は苦しい展開が続いた。チームは初戦から7連敗。その後立て直して4勝したものの、最終順位は4位に終わった。小堀数馬(マネージャー)は「一心」を具現化できなかった」と振り返る。

「一心」の具現化に向けて古東映也ヘッドコーチ(体専4年)が打ち出したのが、チーム全員でのグラウンド整備やウォーミングアップだ。それまでは、選手のレベルに合わせた上位チームと下位チームが別々に行っていた。「学年や技術レベルに関係なく選手が交流し、互いを知り合うことができた。他にも、週に1回は学年ごとにミーティングを開き、その内容をチームで共有した。

そして迎えた秋。試合に出ない4年生たちも、筑波大の濱内大陽野手(体専4年)は言う。だが、今春のリーグ戦は苦しい展開が続いた。チームは初戦から7連敗。その後立て直して4勝したものの、最終順位は4位に終わった。小堀数馬(マネージャー)は「一心」を具現化できなかった」と振り返る。

拓殖大に3-0で勝利 「部員の応援に後押しされた」

サッカー



先制点を決めた和田=筑波大学蹴球部提供

△の筑波大は前期を8位で折り返したが、後期は10月に入って3連勝するなど、4位(10月30日現在)に順位を上げた。3連勝中

は拓殖大戦が3-0、法政大戦が5-2といずれも大勝で、駒澤大戦も1-0で勝利した。リーグ戦で5位以内に入り、全日本大学選手権(インカレ)に出場することを目指している。

10月12日に対戦した拓殖大とは、対戦時に勝ち点で並んでいた。

筑波大は試合開始から積極的にゴールを狙った。開始9分には、DF福井啓太(体専2年)からのロングパスを受けたFW和田育(同4年)がゴール正面でシュートを決めた。

この試合は、会場の規定で蹴球部員による声出しの応援が許されていた。先制点を決めた和田は「部員の応援があると雰囲気は全く違う。もう少し走らなければいけない時に、応援で後押しされた」と話した。

(細井真生II社会学類3年)

3年ぶりのホームゲーム

観客席がフューチャーブルーに

【牛久運動公園野球場茨城県牛久市)で天野圭太(比較文化学類3年、鳥崎翔II医学類5年、12面に連写真)筑波大硬式野球部のホームゲームが10月2日、3年ぶりに開催された。

同部は、筑波大に近い牛久運動公園野球場での試合をホームゲームとしている。

大野球場での試合前練習に自主参加し、グラウンド整備などをやり始めた。出場メンバーが球場を出る際は、バスが見えなくなるまで手を振って見送った。

次節に下級生にも広まると、毎回40人が参加するようになった。清水大海外野手(同4年)は「代表としての責任を強く感じた」と話した。

仲井内野手は「二休感が出た」と語る。こうした「二

トがデザインしたもので、野球部のスローガン「一心」が背中に描かれている。応援は声出し禁止で、ハリスンが使われた。筑波大応援部WINSの演奏に合わせて、攻撃時や得点場面であたり回したりして、球場内を盛り上げた。

試合を終えた西浦は「多くの人の応援を背にかみながらプレーできた」と振り返った。

一方、応援に参加した学生からは「同世代のアスリートが活躍している姿を見て刺激を受けた」「生演奏の応援歌に合わせて応援することができて良かった」などの声が上がった。

ホームゲームを企画、運営した同部の担当者は「選手だけでなく、応援してくれた人も含めて『一心』を体現できたと思う。今後も継続的に実施したい」と話した。

体育施設の使用条件緩和

観客動員が可能に

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

同センターは今年5月まで、新型コロナウイルス感染症対策のため、施設使用を学内者に限定していた。一方で、体育会に所属する部活動を中心に、学内体育施設を使用した公式戦や合同練習などの実施と、それに伴う観客動員を認めてほしいとの要望が上がっていた。

同センターは今年5月まで、新型コロナウイルス感染症対策のため、施設使用を学内者に限定していた。一方で、体育会に所属する部活動を中心に、学内体育施設を使用した公式戦や合同練習などの実施と、それに伴う観客動員を認めてほしいとの要望が上がっていた。

3年ぶりに秋新歓開催 延べ320人の留学生参加



大勢の留学生でにぎわった新歓祭(9月30日、大学会館で) = 修其志撮影

留学生を対象とした秋の新歓祭(秋新歓)が9月30日、大学会館で開催された。筑波大の学生団体を紹介し、参加のきっかけを作ることが目的だ。19の学生団体がパフォーマンスやブース出展を行い、同日の秋季期入学式に出席した留学生や、交換留学生ら延べ約320人が参加した。

2019年までは、イベントを目標し、全学学ローバル・コモンズ機構現群・専門学群・総合学域群国際局グローバル・コモンズが主催していたが、コロナ禍により20、21年は中止されていた。学生主体のイベントのテーマは「T

「Come to University of Tsukuba with passion」というメッセージを込めて付けられた。イベントでは筑波大競技ダンスサークル舞研によるダンスパフォーマンスや、各団体ブースで英語によるサークル紹介が行われ、留学生たちを温かく迎えた。

イベントに参加したモンゴル出身のガンバル・ドリギオンさん(芸専3年)は「コロナの影響で、大学にどのようなサークルがあり、どのような活動をしているか今まで全く知らな

かった。秋新歓で多様な人々と文化に出会うことができ良かった」と話した。全代会の山口毅人国際特別委員長(心理2年)は留学生と日本人学生の間には言葉の壁があり、留学生がサークルを探すのは難しい。こうした状況を改善したいと思い、秋新歓を企画した。来年は規模を大きくして、イベントをさらに盛り上げたいと話した。

筑波大ラジカル人学生団体「AEBUT」は、ブラジルの伝統衣装を着た団員らが団体紹介などを行い、パンフレットを60枚準備し、全て配布することができた。

秋新歓で多様な人々と文化に出会うことができ良かった」と話した。全代会の山口毅人国際特別委員長(心理2年)は留学生と日本人学生の間には言葉の壁があり、留学生がサークルを探すのは難しい。こうした状況を改善したいと思い、秋新歓を企画した。来年は規模を大きくして、イベントをさらに盛り上げたいと話した。

どの問い合わせもあり、秋新歓を機にラジカル人留学生6人が入団した。AEBUTは昨年12月に発足した筑波大の公式ラジカル人学生団体だ。筑波大にいるラジカル人留学生たちのコミュニティを作り、日本の生活で困っていることを共有し、助け合うことを目的としている。卒業後、もつては市に在住しているラジカル人を含め、春学期時点で23人が所属している。ラジカル人以外でも入団は可能だ。

代表のシルベira・イザベラさん(環境P3年)は「秋新歓は自分たちを紹介する良い機会だ。またこのようなイベントに参加したい」と話した。

筑波大落語研究会(落研)は、黒、萌葱色(濃い緑)、柿色の3色からなる定式幕や、演者や演目名を見せるためのめくり台などを飾り、寄席のイメージを演出した。着物を着た会員が、落研の活動や落語の基礎知識、歴史などを英語で説明した。アニメや漫画などを通じて落語を知っており、「興味がある」と、話しかけてくる留学生もいた。

筑波大初の公式ポッドキャスト「研究室サイドストーリー」が4月15日から配信されている。筑波大で行われているさまざまな研究について、裏話的なエピソードも含めて司会と筑波大研究者の対談形式で伝える。1本約20分で、19本(10月22日現在)が配信中心だ。音楽配信サービス「Spotify」や「Apple Podcast」や「Audiobook」などから再生できる。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

筑波大の学生団体が参加する大会や合同練習について、筑波大の体育施設で行われる場合に学外の観客動員が可能となった。筑波大体育センター(センター長・本間三和子教授)は9月22日、施設利用者向けの通知で明らかにした。ただし、学生団体が来場者を把握し、声援の制限など十分な感染対策を講じる必要があるとしている。

留学生の声

ブラジル

ファビオ・タナカ
(情報理工学学位プログラム)

ブラジル南部・クリチバ市出身。昨年4月に情報理工学学位プログラムに入学し、計算機科学の研究に取り組んでいる。大学院修了後は日本で就職し、人の役に立つソフトウェア開発に携わることが当面の目標。



「いつか、日本に行きたい」。日本への憧れが募った。その夢が最初に実現したのは、サンパウロ大で計算機科学を学んでいた2018年10月。交換留学生として来日し、情報科学類で半年間学んだ。多くの日本人の友人ができ、初めての雪も体験した。

人に役立つソフトウェア開発したい

「友人たちと一緒に長野でスキーをしたのが一番の思い出。新鮮な経験だったと振り返る。帰国後にサンパウロ大の友人が、初めての雪も体験した。

生物はこの3段階を繰り返すことで周囲の環境に最適な形に進化する。これと同様に、進化計算を行うと、最適なデータの集まりを導き出すことができるという。

催事 MC展

11月15日(火)20日(日)

11月15日(火)20日(日)に第38回MC展が茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される。

筑波大大学院の人間総合科学学術院の博士前期課程で芸術を専攻する学生ら29人が制作した洋画・版画・日本画の作品を展示する。開催時間は午前9時30分から午後5時まで。最終日は午後2時で閉館。入場は無料。

「孔子をまつる」特別展
「歴聖大儒像の世界」
11月1日(火)18日(金)に附属図書館特別展「孔子をまつる」歴聖大儒像の世界」が開催される。

11月23日(水)に、筑波大アスレチックデパートメ

図画団展2022

11月12日(土)13日(日)

11月12日(土)13日(日)に図画団展2022が筑波大附属図書館2階集客ホールで開催される。

11月12日(土)13日(日)に図画団展2022が筑波大附属図書館2階集客ホールで開催される。

「TSUKUBA LIVE」
11月23日(水)に、筑波大アスレチックデパートメ

11月23日(水)に、筑波大アスレチックデパートメ

藤巻さん(地球4年) 競技かるた学生日本一 高校時代のリベンジ果たす



学生日本一に輝いた藤巻さん=本人提供

全国競技かるた学生選手権(A級)が9月25日、東京ランドホテル(東京都港区)で開かれた。藤巻翔さん(地球4年)が優勝し、学生日本一に輝いた。筑波大生のA級優勝は手塚亮太さん(平成30年度人文学類卒)以来3年ぶりの快挙だ。(藤岡遥菜「工学システム学類1年」)

競技かるたでは「小倉百」対戦は1対1で、かるた人一首かるたが使われる。100枚の中から50枚を無(陣)と相手の前(相手陣)に25枚ずつ配置する。そして、読手が読む短歌に対応する札を取りあう。相手陣の札を取った時は、自陣の札を相手陣に1枚送る。お手つきすると相手陣から1枚送られる。そうして自陣から早く札がなくなると勝利となる。競技者のレベルに応じてA級からE級まで5段階の順位がある。藤巻さんは高校で競技を始めた。現在は最上位のA級で、出場者64人の頂点に立った。1回戦では終盤に差を詰められたものの、2枚差で勝利した。「後半は、お手を恐れて消極的になってしまった」と振り返る。2〜4回戦を順調に勝利し、5回戦では林真尋さん(早稲田大)と対戦。相手陣13枚、自陣16枚と劣勢に

応援部 WINS

露してきた。副将でアンサンブルバンド部の喜西茉莉聖さん(看護3年)は「3部がそれぞれ主役性を持って応援している」と語る。

「筑波大学を元気にする」が筑波大応援部WINSのモットーだ。現在のメンバーは20人で、▽学ラン姿で応援を指揮するリーダー部▽チアリーダー部▽楽器演奏で盛り上げるアンサンブルバンド部―の3部で構成されている。



筑波大男子ラクロス部の試合で応援するメンバー(10月23日、セキショウフィールド)

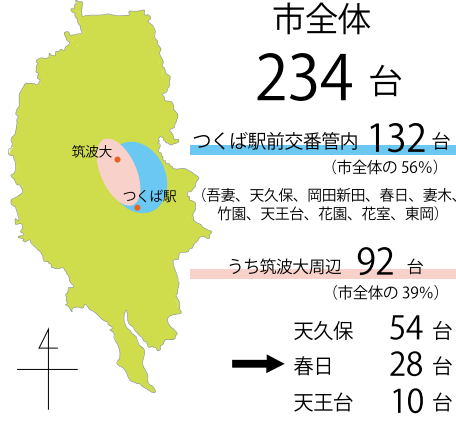
念願の対面応援 熱い気持ちで

「それでも、「選手に気持ち届けたい」の一心で発信を続けた。昨年10月の東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)予

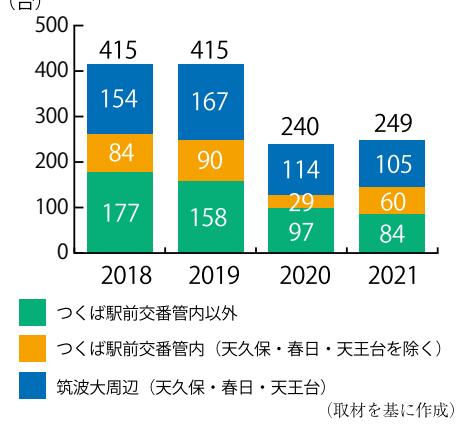
「新しい応援の形を模索したい」とも話した。黒田さんは「選手を間近で応援したことで、気持ちが通じた感じがする。この熱い気持ちを忘れず、応援の輪を広げていきたい」と語った。WINSの応援はこれからも筑波大を元気づけていくに違いない。(高元愛香「心理学類2年 写真も」)

つくば市内の自転車盗難

今年の盗難台数 (10月16日時点)



2018~21年の盗難台数



4割は筑波大周辺

自転車盗多いつくば市内

つくば市内の今年の自転車盗難台数は234台(10月16日現在)で、124台が無施錠だった。また、筑波大周辺(天王台、天久保、春日の3地区)の盗難台数が92台と市内全体の4割を占める。つくば駅や筑波大周辺を担当するつくば駅前交番管内に広がる。1302台と5割を超す。同市内の自転車盗難台数は2015年が671台、

16年が709台と昨年で7年連続で、茨城県内44市町村で最悪最悪だった。20年は240台、21年は249台で以前よりは減ったが、コロナ禍で人流が減った影響とみられる。筑波大周辺での盗難が多い傾向に変わりはない。同署の担当者は「自転車の主な利用者は大学生など若年層。つくばは若者も自転車も多く、それを狙う者も多い」と分析する。盗む目的は、転売など金銭目当てと、その場の足代わりといった。 「駅前や大学の駐輪場は自転車の台数が多い。無施錠でも見つかりにくいと考えるのは誤りで、盗難者は無施錠のものを見つけにやってくる」と担当者は指摘する。だからこそ、駐輪場では必ず施錠したい。また、施錠では二重ロックを



授業時には多くの自転車が駐輪場に停まる(10月31日、第一エリア)

場合刑法の「窃盗罪」に問われることがある。窃盗罪の量刑は10年以下の懲役または50万円以下の罰金だ。同署の担当者は「二重ロックを徹底し、被害に遭った場合は、周知と情報を共有して防犯意識を高めてほしい」と呼びかけた。

立たされたが、疲れを見せながら相手の隙をつき、試合をものにしたい。決勝戦では伊賀瑞希さん(同)と対戦。高校時代の大会でB級優勝をかけて戦い、敗戦を喫した相手だ。序盤で2回のお手つきをして、中盤で相手のお手つきからたみかけた。藤巻さんは今回の優勝で、競技かるたの3大タイトル戦のうち、全日本選手権と全国選抜大会の出場権を得た。今大会を振り返り「会場は早稲田大の選手への応援が多く、アウェーに感じたが、絶対に勝つと思ったことが終盤の勢いにつながった。優勝で得た自信を胸に、二つの大会ではベスト8を目指したい」と話した。

移住労働とディアスポラ政策

——国境を越える人の移動をめぐる

ISBN 978-4-8008-1111-1

明石純一教授(人文社会系) 編著

A5判並製、344頁、11月18日刊行予定、6050円(税込み)。

本書は、アジアを中心とした移住労働者の国際的な移動の現状・政策・問題構造を、送出国側の政策などあわせて多角的に考察している。昨今の日本における受入れ状況や政策展開の理解にも有用だ。

◆ A5判並製、344頁、11月18日刊行予定、6050円(税込み)。

IBDフェローのための First Aid マニュアル

ISBN 978-4-8008-1112-8

A5判並製、144頁、9月28日刊行、3850円(税込み)。

近年、日本でも急増している炎症性腸疾患(IBD)に最新エビデンスを紹介する。D・潰瘍性大腸炎とクローン病に代表される原因不明を豊富に盛り込んだ若手医師向けのIBD指南書である。米シカゴ大のIBDフェロー。

秋山慎太郎講師(医学医療系) 著
松岡克善 東邦大教授 監修

Who's Who?

肌ケアブランド「Yosuga」を起業した
青田 空 さん(比文4年)



「敏感肌で悩む人たちに寄り添いたい」
昨年5月、実家の茨城県石岡市で肌ケアブランド「Yosuga」を立ち上げた。自身の体験を原動力に、肌が敏感な人向けの商品を開発・販売している。ブランド名は「よのぶこう」を意味する「よすが」にちなむ。肌

ケアが人々の生活の支えになってほしい」との思いを込めた。幼い頃からアトピー性皮膚炎に悩まされてきた。小学生の時に処方された薬で症状は治まったが、今も着るものや日常の保湿対策に気を使っている。そうした実体験で身に付いた肌ケアの知識が商品に生きている。

高校生の頃から起業に興味があり、父親からも「起業すれば、仕事をする上で、自分の裁量が大きい」と勧められていた。その前に幅広い価値観を身に付けたいと比較文化学類に入ったが、時間のある大学生の間にとブランド立ち上げに踏み切った。4年次への進級を前に昨年1年間休学し、準備を進めた。

最初に販売したのが、インナーシャツ「Yosuga wear」だ。綿素材は肌に優しいが、蒸れやすく耐久性も低い。その欠点を克服するため、肌に触れる裏面は綿だが、表面は機能性が高い化学繊維で作られた独自素材「PEACH T.E.C.H」を使っている。この素材の存在をインターネットで知り、製造元の小林縫製

敏感肌に寄り添った商品を販売 幼い頃からの実体験が原点に

工業(栃木県栃木市)を直接訪れて「この素材なら敏感肌の人々の生活を豊かにできる」と提案。製品化が実現した。
昨年12月には、クラウドファンディング(CF)を活用し、資金調達を兼ねた先行販売を行った。地元紙でも取り上げられ、「素材の良さにひかれた」「これからも応援します」などの声も寄せられた。だが、在庫の100着には届かなかった。販売前に購入者がある程度確保し、受注の流れを作れば良かった。勉強になった」と反省する。今年6月からは自社のウェブサイトでボディクリーム「Yosuga cream for body」を販売中だ。

成分の配合やさらっとした質感にこだわり、肌の潤いを引き出す。販売では、医薬品医療機器法(薬機法)の規定に反しないよう、製造委託先の企業の専門家にPRの文言などをチェックしてもらった。「敏感肌・乾燥肌の人にとって日々のセルフケアは欠かせないもの。だからこそ、多くの人の手に取ってもらい、ブランドの看板商品にしたい」と意気込む。

ウエブサイトや製品のデザインは、デザイナーの岡本太秋斗さん(令和2年度芸術専門学群卒)に委託している。「自分が考えるブランドの世界観を表現してくれ」と信頼を寄せる。ボディクリームは、白い細長の容器に緑とピンクの丸が大きく二つ描かれたシンプルなデザインだ。「陰翳の中でこそ美しさが見え出す」とする谷崎潤一郎の随筆「陰翳礼讃」を意識し、余白を重視した。

会社の規模を広げることや念頭に、睡眠の質向上につながる新商品を企画している。将来は実店舗を持つのが夢だ。「毎日が小さな挫折」と言いつつ、肌に悩みを持つ人の課題解決につながることを、事業に奔走する。(川上真生 社会学類1年)

筑波大学管弦楽団が熱演



リハーサルから迫力ある演奏を披露していた筑波大学管弦楽団(9月28日、ノバホールで) = 小栗あおい撮影

5面へ

野球 ホームゲームで快勝



フューチャーブルーに染まる観客席(10月2日、明治学院大戦で) = 島崎翔撮影

8面へ

バスケット 日本体育大に雪辱果たす



果敢に攻める小林(右)(10月22日、日本体育大戦で) = 川上真生撮影

9面へ

留学生向け秋新歓



着物姿で落語の紹介をした落語研究会の会員ら(9月30日、大学会館で) = 佟其志撮影

10面へ

編集後記

大学生らしい生活に戻ってきました。秋学期は対面授業が7割を超え(1面)、体育施設の使用制限が緩和されたり、3年ぶりの秋新歓が開催されたりしました(10面)。雙峰祭も3年ぶりの対面開催となります。本紙編集部でも対面での作業が増え、部員たちが活発に意見を交わしています▼オンライン中心の授業では、画面と向き合っていることが多く、友人との雑談も減りました。でも、オンライン授業を経験したからこそ得られた気付きもありました▼バリアフリーについて

次号は
12月19日(月)
発行予定です

取材し(3面)、オンライン化が障害のある学生の学びの助けになった一面も知りました。日常生活にどんなバリアがあるのか、理解できていない自分に気が付きました▼スマホ依存についても取り上げました(6、7面)。スマホの記録をチェックし、想像以上にスマホを使用していることに驚きました。スマホの方が自分より自分のことを知っているなど感じます▼新聞はニュースを報じるだけでなく、考えをきっかけも提供しています。今後も身近な疑問や問題を取り上げていきます。ぜひ一緒に考えてください。(記者・寺尾天野隼太(比較文化学類3年)ほか編集部員15人)

発行所 筑波大学
印刷 リーコム

学芸

スポーツ

スポーツ

学生生活